



ルーテル学院だより

神学校だより

NO.161

NO.88

合併号

2026. 6. 15

| 発行 | ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校
〒181-0015 東京都三鷹市大沢 3-10-20
TEL: 0422-31-4611 FAX: 0422-33-6405
| 発行人 | 石居 基夫
<https://www.luther.ac.jp/>

Message 就任挨拶

就任にあたって



学校法人ルーテル学院の理事長に4月1日付けで就任しました、滝田浩之です。本学は1909年に熊本で路帖神学校として開校し、2029年には120周年を迎えます。

この116年の歩みの中で、1964年に大学として新しい出発を果たし、1976年には神学部「キリスト教社会福祉コース」を設置しました。1987年にはこのコースを社会福祉学科として独立させ、その後の定員増・教員増、ブラウンホールの建設、大学名の改称を経て、2001年には大学院人間福祉学研究科社会福祉学専攻修士課程が実現し、2004年には博士後期課程を設置しました。さらに2005年には臨床心理学科が大学院臨床心理学専攻とともに認可を受け、トリニティホールの建築も果たすことができました。

この歩みを切り拓いてこられた先人たちの精力的な働きに、深い感謝と敬意を覚えます。しかし、大学・大学院は2024年に2025年度からの学生募集停止を決定し、現在、事業終結に向けて歩みを進めています。「キリストの心を心として神と世に仕える」本学の教育理念こそ今の

理事長 滝田 浩之

時代に求められているとの確信を持ちながらも、大変残念なことで心を痛めております。この局面を共に担ってくださっている教職員をはじめ、在学生・卒業生の皆さん、教会・後援会の皆さん一人ひとりの思いを誠実に受け止め、最後まで責任を果たしてまいります。

本学を通して学んだすべての学生の内に、ここで育まれたものが確かに残り続け、受け継がれていくことを信じています。大学・大学院事業の終結後も、1964年の大学化によって目指した理念を引き継ぐ法人であり続けたいと願っています。

神学教育を担う日本ルーテル神学校は、引き続き牧師養成を中心とした使命を担い続けます。

どうか引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

2025年度 卒業式報告

2026年3月6日にルーテル学院大学・大学院の卒業式が執り行われました。

石居学長から『共にある』ことと題して説教がなされ、卒業生の門出をお祝いしました。

総合人間学部人間福祉心理学科58名、総合人間学研究科、社会福祉学専攻博士前期課程2名、博士後期課程1名、臨床心理学専攻修士課程12名、合計73名の学生が巣立っていきました。

国家試験の結果報告

第38回（2025年度）社会福祉士国家試験の現役合格率28.6%（現役・既卒の総数の合格率40%）

2026年3月修了生の公認心理師国家試験の合格率60.0%、2025年3月修了生の臨床心理士資格審査の合格率90%

受験対策等のサポートなどを活かしつつ、一人ひとりの努力が実を結びました。

Feature 特集

すくすく応援団 4年 高橋 ももこ

私は実習で三鷹市社会福祉協議会にお世話になり、その後もボランティアとして活動してきました。その中で、本学で開催することとなったクリスマスとイースターのイベントに関わることができました。これらのイベントは、日中子育て中の親が孤立しているのではないかといった民生児童委員の方の気づきから、「すくすく応援団」として具体化したものです。

クリスマスイベントでは、演奏会やバルーンアートを行い、私も司会やピアノ演奏で参加しました。イースターイベントでは、ボランティアの方の読み聞かせを行い、どちらも大盛況でした。

参加者の方々のアンケートで、「また聴きたい」「少し抱っこしてくれるだけで、楽になった」「学生さんたちが一生懸命で子どもたちへの愛が伝わりました」などの温かいコメントをいただきました。

今回の活動で主体になり、参加者の前に立つ機会も沢山いただきました。社会福祉協議会や

NPOの職員の方は、全体が見られる場所に立って、参加が初めての方に対して、有益な情報をたくさん持ち帰ってもらえるようにしていたことなどは、私の学びにもなりました。

イベントの3か月前から準備を始め、チラシの作成やイベント当日の動きの確認など、決めることが多く、大変さを感じながらも、このような貴重な経験をいただけたことに感謝し、友人と楽しみながら関わることができました。

退任のあいさつ ジャン・プレゲنز



32年間、本学で英語を教えながら、学生の皆さんや先生方から本当にたくさんの刺激と学びをいただきました。振り返れば、授業での何気ない会話や、行事で一緒に笑った時間が何よりの宝物です。イギリス、中国、アメリカへの海外研修を引率したこと、長野の家でのキャンプ、合宿、ゼミなど、かけがえのない思い出がたくさんあります。支えてくださった方々に心から感謝申し上げます。皆さまの未来が明るく実り多いものになりますよう、心よりお祈りいたします。

プレゲنز先生 退任記念感謝会のご案内

長年に亘り教養部門で温かいご指導をくださいました。先生に感謝の気持ちをお伝えする会を開催いたします。

日時：2026年7月25日（土）14:00～16:00
場所：ルーテル学院大学・トリニティホール
参加申込みは、本学ホームページよりお願いします。



Topics トピックス

新たなカリキュラムのもと、新たな献身者を！

今春より神学校は新しいカリキュラムをはじめています。おおよそ2年にわたる改訂作業でしたが、主に以下の3点について検討を重ねてきました。

①これからの教職養成にふさわしい科目群の検討。ルーテル教会の教職養成という神学校の基本線を確認し、将来の伝道牧会の働きに必要な基礎的な学習を十分に行えるよう科目数の絞り込みを行いました。オンライン授業や夏・春休みの集中講座など授業形態の工夫も継続課題です。

②教会実習と宣教研修は、日本ルーテル教団ならびに日本福音ルーテル教会と協議し、各教会の養成プログラムに移行します。これにより神学校の修学年数は

4年から3年に短縮され、神学生は卒業後、教会付教職候補生として教会に派遣、実践的なインターンを経験して教職按手・任用に備えます。

③上記の絞り込みとあわせて、これからの教職養成に必要な新しい科目と学びの創出を検討しました。実践神学演習Ⅰ～Ⅲや神学総合演習などが一例です。高度に専門化・細分化する神学諸科の学びだけではなく、むしろそれらを総合的に理解し、話し合い、自らの言葉にしていくなかで学びと実践の機会を意図したゼミナール（演習）を充実させていきます。

今回のカリキュラム改訂はこれまでの神学教育の基本線を継承していますが、神学校と教会の役割やフォーメーション

神学校校長 宮本 新

が組み直されています。肝心なことは、神学校（カリキュラム）と教会（実践プログラム・インターン）のこれまで以上の相互理解がかかせない改訂になっている点です。神学生には在学期間が短くなる分、集中して神学の基礎をしっかりと学べる環境が必要であり、その点は教会のご理解をいただかなければなりません。他方で、神学校も今まで以上に卒業後のインターンおよび教会と宣教の実状を踏まえた神学教育の検討と充実を引き続き考えなければならないでしょう。こうした変化と挑戦の現状ですが、献身者を求める祈りはこれまでとかわりません。

新たなカリキュラムのもと、新たな献身者を！ お祈りを願います。

News ニュース

学内の利用計画の変更に伴い、諸室の移転、建物の取り壊しがあります。以下の通りご報告いたします。

◆事務室移転

2026年8月下旬に総合オフィス（学生支援センター、事務管理センター）は図書館新館1階に移転します。

電話番号に変更はありません。

◆寮棟解体

2027年2月から寮棟の解体工事を行います。1階ラウンジスペースは2027年1月末まで利用できますが、2階以上は2026年8月ごろから解体の準備工事や残置物の処分を行いますので、利用ができなくなります。ご注意ください。